

☆小中一貫教育の3つのキーワード

- ①連続性・・・9年間を通して、取組が途切れない
- ②系統性・・・9年間を通してのつながり・道筋が明確
- ③一貫性・・・9年間を通して軸がぶれない

☆小中一貫教育の具体的取組

- ◎9年間を通して、ふるさと福栄を学ぶ「ふくえ学習」の展開（地域の「ひと・こと・もの」を活用してクロスカリキュラムの考え方で実施）
 - ・総合的な学習の時間や生活科の時間を使っての体験活動が中心になるが、教科の時間にもふるさと福栄の学習素材を取り上げた学習を実施（「ふるさと福栄で学ぶ」、「ふるさと福栄のひと・こと・ものに学ぶ」）

- ◎「武道に学ぶ」一貫教育…剣道・柔道・相撲・弓道を通しての人間形成

福栄地域は昔から武道が大変さかんな地域

剣道・柔道…1月に約10日間、小学部1年生から中学部2年生までの全児童生徒で武道教室を実施。剣道・柔道のいずれかを選択して稽古をする。（地域の方が指導者）練習の成果を発揮する場として「福栄武道大会」（約50年間続いている）に全員参加。中学部3年生も、武道大会当日、運営スタッフとして参加。

相撲…中学部男子全員、4月の後半から放課後に相撲の練習（地域の方が指導者）をして、4月下旬に萩・阿武中学校相撲大会に出場。秋には、紫福地区にある神社の奉納相撲に参加。28年度から小学部高学年男子も相撲の練習に参加。

弓道…弓道場、そして、弓道の指導ができる教員の存在を生かした取組。28年度7月から「弓道教室」がスタート。週2日昼休みに活動

- ◎9年間を見通しての外国語活動・英語教育の充実

- ・授業の質的充実と量的充実をめざす
- ・中学校卒業までに英検3級取得が目標
- ・学校の様々な教育活動の場を活用した取組の工夫

- 9年間を見通しての学習指導

（授業を通して育成する学力・学習規律・家庭学習）

- チャレンジ目標にもとづいた生活づくりの一貫教育

- ・「山口県一の福栄のみ・そ・あ・じ」にもとづいた生活づくり

- 小学部高学年の教科担任制

学年	国語	算数	社会	理科	音楽	図工	体育	家庭	外国語	道徳	特活	総合学習
5年	6年担任	5年担任	中教員	中教員	6年担任	5年担任	中教員	5年担任	*中教員	5年担任	5年担任	5年担任
6年	6年担任	5年担任	中教員	中教員	6年担任	6年担任	中教員	6年担任	*中教員	6年担任	6年担任	6年担任

- ・中学部教員による乗り入れ授業と5・6年担任の交換授業を組み合わせる
- ・複数の教員が5・6年生の授業に関わる体制と教員の専門性と得意分野を生かした指導を実施

- 小中合同での学校行事や教育活動

- ・小中合同の運動会、小中合同の学校祭（文化祭）、小中一貫駅伝大会
- ・縦割り班での清掃活動…5月連休明けから実施
- ・小中合同での委員会活動
- ・部活動への小学部高学年の参加…毎週火曜日に活動
6月上旬から実施、小学部の教員も部活動の指導に参加